

貸借対照表  
令和2年3月31日現在

(単位：円)

資産の部

科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	535,768,933	554,423,629	△ 18,654,696
有形固定資産	526,981,849	545,636,545	△ 18,654,696
その他の固定資産	8,787,084	8,787,084	0
流動資産	89,280,371	80,043,017	9,237,354
資産の部合計	625,049,304	634,466,646	△ 9,417,342

負債の部

科 目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	125,955,807	122,480,444	3,475,363
流動負債	235,933,414	217,598,710	18,334,704
負債の部合計	361,889,221	340,079,154	21,810,067

純資産の部

科 目	本年度末	前年度末	増減
基本金	970,350,777	903,660,777	66,690,000
第1号基本金	970,350,777	903,660,777	66,690,000
繰越収支差額	△ 707,190,694	△ 609,273,285	△ 97,917,409
翌年度繰越収支差額	△ 707,190,694	△ 609,273,285	△ 97,917,409
純資産の部合計	263,160,083	294,387,492	△ 31,227,409
負債及び純資産の部合計	625,049,304	634,466,646	△ 9,417,342

令和1年度 資金収支計算書

平成31年4月1日から

令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
収入の部			
学生生徒納付金収入	208,492,000	210,774,828	2,282,828
手数料収入	516,000	555,000	39,000
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	2,958,000	2,957,754	△ 246
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	16,186,000	12,462,991	△ 3,723,009
受取利息・配当金収入	600	12,071	11,471
雑収入	4,003,000	3,433,277	△ 569,723
借入金等収入	15,000,000	15,000,000	0
前受金収入	152,200,000	152,400,000	200,000
その他の収入	36,031,000	36,359,079	328,079
資金収入調整勘定	△ 134,598,000	△ 137,418,000	△ 2,820,000
前年度繰越現金預金	42,979,640	42,979,640	0
収入の部合計	343,768,240	339,516,640	△ 4,251,600
支出の部			
人件費支出	113,330,000	111,419,148	△ 1,910,852
教育研究経費支出	66,182,000	74,298,391	8,116,391
管理経費支出	45,882,000	48,962,354	3,080,354
借入金等利息支出	3,310,000	3,325,187	15,187
借入金等返済支出	11,594,000	13,024,000	1,430,000
施設関係支出	0	469,186	469,186
設備関係支出	1,080,000	1,167,545	87,545
その他の支出	63,937,000	59,916,809	△ 4,020,191
資金支出調整勘定	△ 26,300,869	△ 28,865,154	△ 2,564,285
翌年度繰越支払い資金	64,754,109	55,799,174	△ 8,954,935
支出の部合計	343,768,240	339,516,640	△ 4,251,600

令和1年度 事業活動収支計算書

平成31年4月1日から

令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支			
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	208,492,000	210,774,828	2,282,828
手数料	516,000	555,000	39,000
寄付金	200,000	153,144	△ 46,856
経常費等補助金	2,958,000	2,957,754	△ 246
付随事業収入	16,186,000	12,462,991	△ 3,723,009
雑収入	4,003,000	1,246,277	△ 2,756,723
教育活動収入計	232,355,000	228,149,994	△ 4,205,006
事業活動支出の部			
人件費	111,280,000	110,731,511	△ 548,489
教育研究経費	79,718,000	86,940,186	7,222,186
管理経費	49,006,000	50,705,058	1,699,058
徴収不能額等	0	1,627,460	1,627,460
教育活動支出計	240,004,000	250,004,215	10,000,215
教育活動収支差額	△ 7,649,000	△ 21,854,221	△ 14,205,221
教育活動外収支			
事業活動収入の部			
教育活動外収入計	600	12,071	11,471
事業活動支出の部			
教育活動外支出計	3,310,000	3,325,187	15,187
教育活動外収支差額	△ 3,309,400	△ 3,313,116	△ 3,716
経常収支差額	△ 10,958,400	△ 25,167,337	△ 14,208,937
特別収支			
事業活動収入の部			
特別収入計	0	0	0
事業活動支出の部			
特別支出計	0	6,060,072	6,060,072
特別収支差額	0	△ 6,060,072	△ 6,060,072
基本金組入前当年度収支差額	△ 10,958,400	△ 31,227,409	△ 20,269,009
基本金組入額合計	△ 67,500,000	△ 66,690,000	810,000
当年度収支差額	△ 78,458,400	△ 97,917,409	△ 19,459,009
前年度繰越収支差額	△ 609,273,285	△ 609,273,285	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 687,731,685	△ 707,190,694	△ 19,459,009

(参考)

事業活動収入計	232,355,600	228,162,065	△ 4,193,535
事業活動支出計	243,314,000	259,389,474	16,075,474

## 財 産 目 録

( 令和 2 年 3 月 31 日 現在 )

1. 資 産 総 額	金	625,049,304 円
基 本 財 産	金	530,268,933 円
運 用 財 産	金	94,780,371 円
2. 負 債 総 額	金	361,889,221 円
固 定 負 債	金	125,955,807 円
流 動 負 債	金	235,933,414 円
3. 正 味 財 産	金	263,160,083 円

# 令和元年度 事業報告

## 1. 概況

- ① 両校共に求職者への就職指導に力を注ぎ、就職決定の追い込み時期に発生した新型コロナウイルスの影響を大きく受けることなく就職内定率は98.5%となった。なお、就職未定者には、卒業後も引き続き就職指導を続けている。
- ② 令和2年度新入学生の募集活動の結果、埼玉校は57名と昨年比16名の増加となったが、依然として定員には届いていない。一方、東京校はここ3年間上回っていた募集定員(40名)を下回る38名となり、厳しい状況である。
- ③ 新入生の内、埼玉校で6名、東京校で5名の学生が退学した。  
退学理由は以下の通り
  - ・埼玉校6名 内 進路変更1名(日本語の学びなおし)、友人関係の悩み1名  
学習意欲の低下2名、体調の問題1名、婚姻1名
  - ・東京校5名 内 学習意欲の低下3名、親族台風被害のため1名、留年後不登校1名
- ③ 文部科学大臣による高等教育の修学支援新制度(高等教育無償化)の対象校として両校共に埼玉県、東京都より認定を受けた。(令和元年9月30日付)
- ④ 依然として資金状況が逼迫していることから経費の削減に努めたが改善には至らなかった。
- ⑤ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、埼玉・東京両校共に卒業式を縮小し、例年実施している卒業祝賀会を中止した。

## 2. テクノ・ホルティ園芸専門学校(埼玉校)の状況

- ① 設置コースを次の通りに変更・新設した。
  - ・花と野菜の農業ビジネスコース・花き園芸専攻 → 花き生産コース(コースに独立)
  - ・花と野菜の農業ビジネスコース・野菜生産専攻 → 野菜生産コース(コースに独立)
  - ・フラワーデザインコース → フラワーコーディネーターコース(名称変更)
  - ・造園・環境緑化コース → 造園コース(名称変更)
  - ・グリーンコーディネーターコース(新設)
- ② 卒業生34名中、園芸業界への就職を希望していた者は33名。この内、就職決定者は32名。就職未定者1名に対しては引き続き指導を続けている。
- ③ 令和2年度の入学予定者は57名となり、令和元年度の入学者41名に対し、16名増となった。特に造園コースの入学生が6名から16名の10名増となった。一方、依然として花き生産コース6名、野菜生産コース5名と厳しい状況である。
- ④ 設置する5コース全てが、社会人の学びなおしを支援するための「専門実践教育訓練給付金」の講座指定を受けた。
- ⑤ 「農業次世代人材投資資金事業」(農林水産省)で認定を受けていた2年次生3名は、全員雇用就農した。また、1年次生3名が新たに認定を受けた。

- ⑥ 本年度もコンテストでの受賞や資格取得に一定の成果を上げることができた。
- イベントへの出展や競技会での受賞状況
    - ・ 第57回技能五輪全国大会（愛知大会）のフラワー装飾部門に3名が出場した。
    - ・ 4月に行われたふかや花フェスタのコンテストで、特別賞を1名、奨励賞を3名が受賞した。
  - 資格取得の状況
 

・ 園芸装飾技能士	2級	8名合格（8名受検）	100%	（内・金賞1名）
	3級	14名合格（14名受検）	100%	（内・金賞4名）
・ 造園技能士	2級	4名合格（4名受検）	100%	（内・金賞2名）
	3級	5名合格（5名受検）	100%	（内・金賞3名）
・ フラワー装飾技能士	2級	18名合格（20名受検）	90%	（内・金賞1名）
	3級	12名合格（12名受検）	100%	（内・金賞1名）
・ 商品装飾展示技能士	3級	6名合格（6名受検）	100%	（内・金賞1名）
・ NFDフラワーデザイナー	2級	1名合格（1名受検）	100%	
・ 日本農業技術検定	2級	7名合格（10名受検）	70%	
	3級	6名合格（7名受検）	86%	
・ リテールマーケティング（販売士）	3級	3名合格（3名受検）	100%	
・ 色彩検定	2級	6名合格（6名受検）	100%	
	3級	11名合格（13名受検）	85%	
・ 土壌医検定	3級	1名合格（2名受検）	50%	
・ POP広告クリエイター		12名合格（14名受検）	86%	
  - 前年度の技能五輪全国大会・フラワー装飾部門で金賞を受賞した卒業生が、ロシアのカザン市で開催された国際大会へ出場した。結果は22名中18名であった。
- ⑦ 地域と連携したいくつかの行事に参加した。
- ・ 埼玉県委託「リアル体験教室」：小学生対象のフラワーデザイン教室（参加者80名）
  - ・ 行田市民対象の園芸講座（行田市委託）：市民20名×2講座（参加者計40名）
  - ・ 特別養護老人ホームの植物の装飾・管理、季節のフラワー装飾、花壇作成
  - ・ 毎秋実施している文化祭（学園祭）に行田市教育委員後援を受けている
  - ・ 市の施設やイベントで農場生産物や商品を定期的に販売している
  - ・ 行田市内公園の花壇植栽、管理
- ⑧ 高等学校生や教員の見学・実習を受け入れた。
- ・ 埼玉県立鳩ヶ谷高等学校（2年生 40名見学）
  - ・ 群馬県立勢多農林高等学校（1年生 36名見学）
- ⑨ タイ国への研修旅行を実施し、6名の学生が参加した。
- ⑩ 施設・設備等に関わる事項
- ・ GAP（農業における生産工程管理）の埼玉県版（S-GAP）の認証を受けた（栽培品目：コマツナ）。

⑪ 職業訓練

・埼玉県 就職支援訓練（委託訓練）

生花店・園芸店スタッフ養成

2月開講 3ヶ月訓練 受講生10名 委託事業費 540,000円（2月分）

⑫ 総務（広報担当者）2名が退職したが、3名を採用することができた。

3. 東京テクノ・ホルティ園芸専門学校の状況

① フラワーデザインコースとグリーンコーディネートコースを合併し、生花店や園芸店への就職を目指すコースとしてフラワーデザインコースを位置づけた。

また、ブライダルフラワーコースは従前の通り、婚礼や葬儀、イベントの花装飾を修得できるように特化させている。

② 卒業生35名中、フラワー・園芸業界への就職を希望していた34名全員が就職決定した。

③ 文部科学大臣によりフラワービジネス学科（2コース）が「職業実践専門課程」の認定を受けた。

④ 本年度も資格の取得やコンテストへの出展を奨励した。

○ 資格取得の状況

・フラワー装飾技能士	2級	24名合格（28名受検）	86%
	3級	25名合格（29名受検）	86%
・園芸装飾技能士	3級	12名合格（12名受検）	100%
・リテールマーケティング（販売士）	3級	16名合格（17名受検）	89%
・カラーコーディネーター	3級	27名合格（38名受検）	71%
・NFDフラワーデザイナー	3級	5名、2級2名受検予定（試験延期）	

○ 授業の一環として次のコンテストなどに出展した

・第57回技能五輪全国大会（愛知大会）のフラワー装飾部門に5名が出場、内1名が敢闘賞を受賞した

・グリーンデザインコースの学生が日比谷公園ガーデニングショーに出展した

・例年実施している「ホテル聚楽」の館内装飾、「三井住友海上火災ビル」の緑地整備を本年度も継続して実施した

⑤ 総務（広報担当者）を1名採用した。

以上

# 監査報告書

令和2年5月13日

学校法人 伊東学園  
理事長 伊東政信 殿

学校法人 伊東学園

監事 高橋康夫 ⑩

監事 石原嘉久 ⑩

私たちは、学校法人伊東学園の令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)における会計制度の整備及び運用の状況並びに資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表について監査を行った。

## (監査事項)

1. 会計制度の整備及び運用の状況について
  - 監査の結果、私たちは会計制度の整備及び運用の状況は妥当であると認める。
2. 資金収支計算書について
  - ① 資金収支計算書は、学校法人会計基準の定めるところに従って行われている。
  - ② 資金収支計算書の表示方法は、学校法人会計基準の定めるところに従っている。
3. 事業活動収支計算書について
  - ① 事業活動収支計算書は、学校法人会計基準の定めるところに従って行われている。
  - ② 事業活動収支計算書の表示方法は、学校法人会計基準の定めるところに従っている。
4. 貸借対照表について
  - ① すべての資産及び負債は、学校法人会計基準の定めるところに従って正しく計上されている。
  - ② 基本金及び消費収支差額の計上については、学校法人会計基準の定めるところに従って計上されている。
  - ③ 貸借対照表の表示方法は、学校法人会計基準の定めるところに従っている。
5. 学園の事業遂行状況について
  - ① 学園の事業遂行に関しては、園芸業界への有為な人材育成輩出が順調に推移するなど適正に遂行されている。
  - ② 学園の業務・財産に関して重大な法令および寄附行為に違反する事実は認められない。

以上